

かわさきしがいいこくじんしみんだいひようしゃかいぎ
川崎市外国人市民代表者会議（2026（令和8）年度第1回第1日）会議録

1 開催日時 2026（令和8）年4月19日（日）午後2時00分～4時54分

2 開催場所 川崎市役所本庁舎2階 ホール

3 出席者

委員 鄭 載勳（委員長）、ディアズ アルベルト ジョセフ ヒラリオ（副委員長）、アブダッラ マダネ委員、アンタリクサ イスタス委員、ヴェチュエレック マリアン委員、オトゴンバヤル バトブヤン委員、川井 スニ委員、キム ジナ委員、コスチャコーバ クセーニア委員、志村 ユリア委員、朱 紫玥委員、ジョン ウナ委員、スリデウィ スミアルシ委員、セレスタ メリタ委員、孫 鍵委員、陳 英鈺委員、ディッテ カタリナ委員、ドムセ ブジャ委員、ハビブザデ バネギ プーシャン委員、フリードマン マックス委員、ホサニ アハマド ユースフ委員、ライ ティ ジュエン委員、ラサネン ペッテリ委員、ルイス ジェームス委員
事務局 高岸局長、高橋部長、小出課長、藤澤担当係長、北村課長補佐、魚住 専門調査員

- 4 議題（1）委嘱式（公開）
（2）正副委員長の選出（公開）
（3）年間日程について（公開）
（4）審議スケジュールについて（公開）

5 傍聴者 3人

6 会議内容

○事務局 それでは、時間となりましたので、始めさせていただきます。本日は、お忙しいところ、お集まりいただきましてありがとうございます。私は、市民文化局多文化共生推進課長の小出と申します。

初めに、川崎市外国人市民代表者会議条例第8条の規定に基づき、本日は、代表者の半数以上の24人が出席しておりますので、会議が成立していることを報告します。

これより、委嘱式を行います。本日は、白鳥副市長、高岸市民文化局長に出席いただいております。

それでは、委嘱状の交付を行います。

（委 嘱 状 交 付）

○事務局 続きまして、白鳥副市長から挨拶を申し上げます。

○白鳥副市長 皆さんこんにちは。まず初めに、皆さんに川崎市を代表して、また、多くの川崎市の市民を代表してお礼を言いたいと思います。皆さん、川崎市外国人市民代表者会議のメンバーになってくれて、本当にどうもありがとうございます。

私は、いろんな場面でよく聞かれることがあります。それは、川崎市の魅力を一言、ワンフレーズで言うと、どういうことですかということです。そうしたとき私は、こうやって答えます。「それは多様性、ダイバーシティだよ」と。いつもそういうふうに答えるようにしています。今日、ここに川崎市のブランドメッセージ、そのロゴマークががありますが、これ「いろいろって、未来。Colors, Future!」これを表したロゴマークです。これは、川崎の「川」という漢字を赤、緑、青、光の三原色で表しています。光の三原色、3 primary colors of lightという、光の三原色です。これ、どういう意味を持っているかという、私は2つ説明します。

1つは、この3つの色が、混ざり合うとどんな色にでもなることができます。ですから、混ざり合った全ての色、一つ一つがすばらしいのだよ、美しいのだよ、そういうメッセージです。

あともう1つは、光の三原色、colors of lightということで、混ざれば混ざるほど明るくなります。要は、混ざり合うことで、輝きがどんどん増すと、そういうことを表しています。それはまさに川崎市が多様性、ダイバーシティ、これを本当に大事にしているということを表しているのだと思います。

今日、集まっていたいている皆さんは、大体20か国・地域くらいのルーツを持つと私は聞いています。ぜひ、この先、意見交換、話し合いをいっぱいしていただいて、皆さんのそれぞれの個性をいっぱい混ぜ合わせていただきたいと思います。それによって、この川崎、みんなが暮らす川崎のまちがますます輝くことを私は期待しています。これを皆さんにお伝えして、私からの挨拶を終わりにしたいと思います。これから2年間ですが、どうぞお願いします。

(写真撮影)

(高橋市民生活部長から事務局職員の紹介)

○事務局 皆様どうもありがとうございました。それでは、10分間の休憩とします。会議は2時25分に再開します。

(午後 2時15分 休憩)

(午後 2時25分 再開)

○事務局長 代表者の皆様から自己紹介をお願いします。

○アブダッラ マダネ委員 シリア出身です。現在、IT企業で働いております。

外国人市民代表者会議でやりたいこととしては、川崎市に住んでいる外国人が、日本社会に溶け込めるように、そして貢献できる人材になれますように、皆様とお話しできたらいいなと思っています。

(拍手)

○アンタリクサ イスタス委員 インドネシア出身です。日本は18年目になっているのですが、川崎市に住んで4年目になります。川崎を平和なまちに、今でもそうなのですが、より住みやすいまちにしたいなと思っています。

(拍手)

○ヴェチェレック マリアン委員 生まれと育ちは昔のチェコスロバキアのスロバキアのほうです。日本に来てからもう16年になりますけれども、サラリーマンなので、アメリカに行ったり、ヨーロッパに行ったりしていましたが、実際に住んでいるのは12年ぐらいだと思います。川崎は、ダイバーシティが豊富なまちです。住みやすいだけではなく、お互いのことをもっと知って、リスペクトしながらいい社会をつくりたいと思っています。

(拍手)

○オトゴンバヤルバトブヤン委員 モンゴル出身です。私は、日本に来てほぼ30年近いです。川崎市に来て四、五年たっています。川崎市の日本人の方と外国人の方の触れ合う場、機会をどんどん増やしていきたいと思っています。

(拍手)

○川井 スニ委員 私の国は南アメリカにあるパラグアイです。日本に来て、今年でちょうど30年になります。川崎市に来て、14年になります。皆さんと力を合わせて、いい提言を上げられるといいなと思っています。

(拍手)

○キム ジナ委員 韓国出身です。エンターテインメント関連企業に勤務しております。この会議では、ケアや福祉、保険、さらには芸術を活用した多文化共生のあり方について、皆さんと意見交換を行いたいと考えております。

(拍手)

○コスチャコーバ クセーニア委員 ロシアの出身です。日本に来て11年目です。子どもが2人います。現在、世界情勢は不安定な状況にありますが、日本、そして川崎市を、誰もが安心して安全に暮らせるまちにしていきたいと考えております。

(拍 手)

○志村 ユリア委員 ドイツから来ました。もう10年間くらい日本に住んでいて、川崎に2年間くらい住んでいます。子育てをする家族が川崎で住みやすい環境をつくりたいと思います。

(拍 手)

○朱 紫玥 中国出身です。日本に来てから、今年が16年目になります。川崎市で生活して5年目くらいです。皆様と一緒に積極的に意見を交換しながら、外国人にも日本人にも暮らしやすい生活環境をつくれるように、微力ながら貢献していきたいと思っています。

(拍 手)

○ジョン ウナ委員 韓国から来ました。私は、日本に来て8年がたち、川崎市に来てからは3年がたちました。仕事は経営コンサルタントとして働いています。この川崎市外国人市民代表者会議に参加するきっかけは、日本に来て8年が経過した現在も、自分の居場所や、本当の意味でのコミュニティー・共同体に所属しているという実感を持たず、孤独や孤立感を抱えていることです。こうした悩みは自分だけではなく、ほかの外国人の方々も抱えているのではないかと考えました。そのため、このような問題について皆さんと一緒に話し合いたいと思い、参加いたしました。

また、私が考える理想的な共同体・コミュニティーとは、一人ひとりが自分らしい生き方で幸せに暮らしながら、それぞれの形で共同体に貢献し、皆で住みやすい地域をつくっていくことができる場です。誰一人取り残されることなく、周囲とのつながりを持ちながら、自分らしく生活できる地域づくりに貢献できればよいと考えています。

(拍 手)

○鄭 載勳委員 韓国から来ました。日本に来て10年くらいで、川崎に来て3年、4年目くらいになります。私が皆さんと話したいことは、日本の方と外国人がお互い理解して、住みやすい環境をつくることです。

(拍 手)

○スリデウィ スミアルシ委員 インドネシアから来ました。日本に来て、介護福祉士として働いています。日本に住み始めてから約7年になります。川崎市は非常に暮らしやすい環境だと感じっていますが、外国人が生活の中で困難に直面する場面も少なくありません。本来であれば、困ったときに外国人同士で助け合える

かんけい きず かんが げんじよう じゅうぶん じつげん かん
関係を築きたいと考えていますが、現状では十分に実現できていないと感じています。

(拍 手)

○セレス タ メリタ 委員 ネパール出身です。私は13歳のときに来日し、現在まで川崎市に住んでいます。そのため、川崎市は私にとって本当の実家のような存在だと感じています。私がこの会議で取り上げたいテーマは、外国につながる子どもや若者への支援についてです。私自身の経験からも、中学生をはじめとする10代は非常に多感で悩みの多い時期であると感じています。特に、保護者も外国人である場合、日本の進学や就職の仕組みについて十分な情報を得ることが難しく、中学校卒業後にどのような高校へ進学すればよいのか、高校卒業後は進学と就職のどちらを選択すべきかなど、さまざまな悩みを抱えることがあります。また、10代は悩みを周囲に相談しにくい時期でもあります。そのため、外国人の保護者や子どもたちが、日本でより良い人生を送ることができるよう、進学や就職をはじめとするさまざまな相談について、安心して専門的な支援を受けられる相談窓口のあり方をテーマとして話し合いたいと考えています。

(拍 手)

○孫 鍵 委員 中国出身です。私は約2年前に来日しました。当初は知り合いもほとんどおらず、ゼロからの生活のスタートでした。そのため、戸惑いや不安を感じることもありましたが、地域の皆様の温かい支えを受けながら、徐々に地域になじむことができました。このたび、外国人市民代表者に選出いただき、大変光栄に感じるとともに、心より感謝申し上げます。今後は、この感謝の気持ちを胸に、常に謙虚な姿勢を忘れることなく、外国人市民と川崎市をつなぐ架け橋となれるよう努めてまいります。

(拍 手)

○陳 英 委員 中国出身です。私は日本に来て約6年半になります。不動産や老人ホームに関する分野で約3年間勤務した後、今年から大学院の修士課程に進学し、医療マネジメントを専攻しています。この会議では、これまでに培ってきた経験や知識を生かし、外国人市民の住居、医療及び福祉に関する課題について皆さんと意見交換を行い、少しでも課題解決に貢献したいと考えています。

(拍 手)

○ディアズ アルベルト ジョセフ ヒラリオ 委員 フィリピン出身です。私は9歳のときに来日し、小学校・中学校・高校・大学まで日本の学校に通いました。この

会議では、子どもたちのために、外国人と日本人との間にある心理的・文化的な壁をどのように取り除いていけるのか、また、互いに理解を深めながら地域や学校になじみやすい環境をどのようにつくっていけるのかについて考え、皆さんと意見交換を行いたいと考えています。

(拍手)

○ディッテ カタリナ委員 私はドイツから来ました。ウクライナ生まれで、ドイツでは外国につながりを持つ子どもとして育ちました。そのため、外国人としての経験は、子どもの頃のドイツでも、大人になってからの日本でも持っています。現在は大学院の博士課程に在籍し、経済学を専攻しています。特に、外国人に関する政策や、外国人がより安心して社会の一員として暮らし、活躍できる環境づくりについて研究しています。外国人市民代表者会議に参加した理由は、日本人と外国人とのつながりをより深めるために何ができるのかをテーマとして、皆さんと話し合いたいと考えたからです。

(拍手)

○ドムセ ブジャ委員 インド出身です。私は川崎市に来て8年になります。現在まで一貫して中原区に住んでいます。この会議で話し合いたいテーマは、まちづくりと人と人とのつながり、そして地域における日本人と外国人とのつながりについてです。昨年度の報告書を拝見すると、防災や多言語による情報発信、子育て支援など、制度面におけるさまざまな取組が進められていることが分かりました。一方で、新たに日本で生活を始める外国人に対しては、制度的な支援に加え、人とのつながりを支える社会的なアプローチも必要であると考えています。具体的には、ヨーロッパの一部の自治体では、バディプログラムやピア・メンタリング、フレンド会議などの取組を通じて、地域住民や長く居住している外国人と新たに来日した外国人との交流を促進し、仲間として支え合いながら暮らしやすい環境づくりを進めています。このような取組を川崎市でも実施できないか、皆さんと一緒に考え、意見交換を行いたいと思います。

(拍手)

○ハビブザデ バネギ フーシャン委員 イラン出身です。大体32年前、日本の研究者として日本に来て、川崎市に住んで1年半くらいです。長く住んだのは静岡県、愛知県です。川崎市ではIT企業、AIとかそういう関係で仕事しています。川崎に来てから分かったのは、同じ日本国内であっても、まちごとに結構違いがあります。病院も分からないし、火災・地震があつたらどうするか、慣れるには

結構時間がかかります。外国人市民代表者会議では、外国人同士で生活の悩みについて意見交換し、平和に住むこと、平和にコミュニケーションを取る方法について考えたいと思います。世界は不安定で、特に中東、イランは戦争で大変な状況になっています。平和がどれだけ大事か、日本の平和な社会を維持して、絶対に不安定な世界、戦争の世界に入らないように、自分の経験を伝えたいと思っています。

(拍手)

○フリードマン マックス委員 私はアメリカ出身です。来日して5年になり、川崎市に住み始めてからは約1年半になります。まだ日本語が十分ではありませんので、私の発言が聞き取りにくかったり、分かりにくかったりする場合は、遠慮なくお知らせいただければと思います。

(拍手)

○ホサニ アハマド ユースフ委員 モーリシャスから日本にきました。私は来日して26年目、川崎市に住んで20年目になります。この20年間、川崎市で生活してきましたが、当初は分からないことも多く、さまざまなことを学びながら、地域の活動などにも参加してきました。そうした経験を通じて、現在では川崎市はとても暮らしやすい、魅力的なまちであると感じています。また、家族も川崎市で暮らししており、子どもたちは大学に進学し、現在は社会人として働き始めています。私自身も今後も川崎市に住み続けるつもりです。そのため、これまでお世話になった川崎市のために、今度は自分自身が何か貢献できるのではないかと考え、このたび外国人市民代表者会議に応募いたしました。選出いただき、大変光栄に思っています。今後は、川崎市をさらに良いまちにしていこうと取り組んでいきたいと考えています。また、外国人と日本人がお互いを理解し、尊重し合える関係づくりについて、皆さんとさまざまな意見交換を行いたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

(拍手)

○ライ ティ ジュエン委員 ベトナム出身です。これからは皆さんといろいろなディスカッションしていきたいのは、私は、個人的に情報発信の強化についてとても興味あります。なぜかという、今配っていただいたこちらのチラシを見て、4年前初めて中原区に来た日を思い出しました。その日も皆さんと同じように普通にマイナンバーカード、それから住民票、転入手続を行いました。もしその日、こういうすてきなもの、川崎についての資料を配っていただけて、それから例えば

「川崎市では、こういう日本語教室あります」とか、「こういうサイトがあるから見てください」とか、一言教えていただければとても助かっていたと思います。なので、これから新しく転入してきた外国人に対して、こういう資料の配布や情報発信をもう少し強化できたと思います。また、市の活動についても、回覧やホームページなど様々な方法を活用して外国人市民へ広く情報を発信することができれば、川崎市への理解が深まるとともに、地域への愛着も一層高まるのではないかと考えています。このようなことから、私は情報発信の充実について関心を持っており、皆さんと意見交換を行いたいと考えています。

○ラサネン ペッテリ委員 フィンランド出身です。日本に来てから3年間、この川崎市で暮らしまして、本当に副市長もおっしゃっていただいたように、この多様性、多文化を大切にしているこのまちの雰囲気は本当に大好きです。そして、代表者としてこれからの2年間は、皆さんがおっしゃっていただいたように、外国人市民の悩みや意見が市政に届き、日本人の皆さんと共により住みやすく、よりよい川崎市を目指していきたいと考えております。分からないことばかりですが、皆さんといろいろな意見交換をして議論しながら、進めていきたいと思っています。

○ルイス ジェームス委員 私はイギリスとスペインにルーツを持っています。外国人市民代表者は、今後様々な国際交流イベントに参加し、多くの外国人市民と接する機会があると思います。その中で、多くの悩みや課題を伺うことになると思っています。そのような声を行政や地域社会につなぐ外国人市民代表者の役割は非常に重要であり、活動を進める中でその責任の大きさを実感することになると思います。今後2年間、皆さんと協力しながら、それぞれの役割を果たせるよう精一杯取り組んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○事務局 ありがとうございます。

それでは、続いて議事次第7「正副委員長の選出」に移ります。

委員長と副委員長が選出されるまでの間、高橋市民生活部長が司会進行させていただきます。よろしいでしょうか。

(異 議 な し)

○高橋市民生活部長 それでは、委員長、副委員長が選出されるまでの間、進行役を務めさせていただきます。まずは委員長と副委員長の役割などについて、事務局から説明をお願いします。

(魚住専門調査員から資料2に基づき説明)

○高橋市民生活部長 今の説明について、質問等がありますか。

○ライ ティ ジュエン委員 外国人市民代表者会議条例第11条についてお伺いします。委員長が調査審議の結果を取りまとめ、その内容を市長へ提出する前に、市の担当部署による確認を受けることになるのでしょうか。それとも、委員長が内容を確認した上で、直接市長へ提出することになるのでしょうか。

○事務局 外国人市民代表者の皆様が話し合った内容については、事務局が報告書案として取りまとめます。その後、内容について皆様に確認していただき、了承を得た上で、市長へ報告します。したがって、委員長や副委員長のみで報告書を作成し、市長へ報告するものではありません。

○アブダッラ マダネ委員 委員長・副委員長の役割の一つである日本語スピーチコンテストについてお伺いします。開催日程については、どの程度前にお知らせいただけるのでしょうか。

○事務局 日本語スピーチコンテストの開催日程については、国際交流センターが決定しています。開催日程は、通常、コンテスト開催の数か月前までには決定されるものと認識しています。

○孫 鍵委員 条例第9条第2項に「前項の規定にかかわらず、委員長が必要と認めるときは、臨時の会議を開催することができる」と規定されています。この臨時会議についても、代表者の半数以上の出席がなければ開催することができないのでしょうか。

また、これまでの臨時会議の開催実績や、どのような場合に開催されるのかについてお聞かせください。

○事務局 まず、臨時会議についても代表者会議の一つであるため、開催には代表者の半数以上の出席が必要となります。

臨時会議の開催実績については、基本的に年1回、オープン会議を臨時会議として開催しています。オープン会議では、外国人市民代表者以外の方も、傍聴するだけでなく、発言を行い、審議に参加していただく形式となっています。

また、臨時会議を開催する場合としては、オープン会議のほか、通常の会議にない提言内容を取りまとめることができず、追加で審議が必要となった場合などが考えられます。ただし、そのようなケースはこれまでほとんどありません。このため、臨時会議については、基本的にはオープン会議の開催を想定していると御理解ください。

○高橋市民生活部長 それでは、委員長、副委員長の選出方法について、事務局から説明をお願いします。

(魚住専門調査員から資料2に基づき説明)

- 高橋市民生活部長 今の説明について、質問などがありますか。よろしいでしょうか。それでは、委員長の選出方法について、事務局案に賛成の方は、手を挙げてください

(挙 手 2 1 人)

- 高橋市民生活部長 挙手による採決の結果、賛成者は21人でした。過半数を超えておりますので、委員長の選出方法については事務局案のとおり決定いたしました。

次に、副委員長の選出方法について決めたいと思います。副委員長の選出方法等について、御質問や御意見はございますか。

- ハビブザデ バネギ フーシャン委員 委員長と副委員長は、様々な場面で連携しながら活動を進めることになるとおもいます。そのため、委員長については代表者の皆さんで選出し、副委員長については、委員長がこの中から最も適任と考える方を副委員長として選任するという方法は可能なのでしょうか。

- 事務局 条例第6条第1項では「代表者会議に委員長及び副委員長各1人を置き、代表者の互選により定める」と規定されています。したがって、委員長が単独で副委員長を決定することはできません。一方で、委員長が副委員長に適任と考える委員を推薦することは可能であると考えています。そのため、どなたかが委員長に選出され、「ぜひこの方と一緒に活動したい」という希望がある場合には、委員長から副委員長候補者として推薦していただければと思います。

- オトゴンバヤル バトブヤン委員 意見になりますが、本日の時点では、お互いのことを十分に知らないまま投票することになり、結果として見た目や第一印象で判断せざるを得ない部分があるのではないかと感じています。できれば、事前に意見交換や交流を行う機会を設け、お互いの考え方や人柄を理解した上で投票できるようにしたほうがよいと思います。投票によって委員長や副委員長を選出するためには、判断材料が必要であると考えていますが、現時点では誰をどのような基準で選べばよいのか難しいと感じました。

- 事務局 いただいた御意見については、今後の委員長及び副委員長の選出方法の在り方を検討する際の参考とさせていただきたいと思います。一方で、今回は第1回会議の初日であることから、本日中に委員長及び副委員長を選出することについて御了承いただきたいと思います。

- オトゴンバヤル バトブヤン委員 本日の会議では、委員同士で意見交換やディスカッションを行う時間はありますでしょうか。

○事務局 設けていません。

○オトゴンバヤル バトブヤン委員 本日、意見交換やディスカッションを行う議題があるのであれば、その後に委員長及び副委員長を選出した方が、お互いの考え方や人柄を理解した上で判断することができ、よりよい選出につながるのではないかと思います。先ほどの発言は、そのような趣旨で申し上げたものです。失礼いたしました。

○川井 スニ委員 委員長が任期の途中で辞任し、別の委員に交代することは可能なのでしょうか。

○事務局 委員長がやむを得ない事情により、職務を継続することが困難となった場合には、改めて委員長を選出することになります。基本的には、委員長は2年間の任期を通じて務めていただくことを想定していますが、事情に変更が生じた場合には、別の委員に交代することとなります。

○ディッテ カタリナ委員 立候補者のスピーチ終了後、候補者に対して質問する機会を設けていただくことは可能でしょうか。

○事務局 立候補者によるスピーチのみとするか、あるいはスピーチ後に質問を受けて回答する形式とするかについては、委員の皆様にご決定していただいております。

(異 議 な し)

○高橋市民生活部長 それでは、まず、立候補者によるスピーチのみの形式とすることについて、賛成される方は挙手をお願いします。

(挙 手 0 人)

○高橋市民生活部長 立候補者によるスピーチ後に質疑応答を行う形式とすることについて、賛成される方は挙手をお願いします。

(挙 手 1 4 人)

○高橋市民生活部長 過半数を超えておりますので、委員長及び副委員長の候補者の方には、スピーチ終了後に質問に応じていただくこととします。

次に、副委員長の選出方法についてお諮りします。委員長の選出方法と同じ方法とすることに賛成される方は、挙手をお願いします。

(挙 手 2 2 人)

○高橋市民生活部長 挙手による採決の結果、賛成者が過半数を超えましたので、原案のとおり決定します。以上をもちまして、委員長及び副委員長の選出方法については決定いたしました。

それでは、まず委員長の選出を行います。委員長に立候補される方は、挙手をお

お願いします。

(挙 手 4 人)

- 高橋市民生活部長 4人の方に立候補いただきました。委員長の立候補者は、アブダッラ マダネ委員、スリデウィ スミアルシ委員、孫 鍵委員、ディアズ アルベルト ジョセフ ヒラリオ委員の4人です。

先ほど申し上げましたとおり、立候補者に加え、委員の皆様から候補者を推薦していただくことも可能です。推薦したい方がいらっしゃいましたら、挙手をお願いいたします。

- ルイス ジェームス委員 鄭 載勳さんを推薦します。

- 高橋市民生活部長 推薦された方につきましては、その推薦を受けるか辞退するかを御自身で選択していただくことができますが、いかがでしょうか。

- 鄭 載勳委員 ありがたくお受けします。

- 高橋市民生活部長 それでは、この5人を委員長候補者とします。続いて、候補者の皆様に順番にスピーチをお願いいたします。候補者全員のスピーチ終了後に、まとめて質疑応答の時間を設けたいと思いますが、その進め方でよろしいでしょうか。

(異 議 な し)

- 高橋市民生活部長 それでは、順番にスピーチをお願いいたします。

- アブダッラ マダネ委員 この会議を通じて達成したいことについてお話しします。

私が今回この代表者会議に参加した理由は、川崎市に貢献したいと考えてためです。また、広い視点で見れば、日本社会にも貢献したいと考えています。私は日本で生活し、多くの恩恵を受けていることから、単に生活するだけでなく、この平和な社会に貢献することが自分の責任であり、役割でもあると考えています。

私たちは外国人市民代表者として、外国人市民の声を代表する立場にあります。そのため、この役割には大きな責任が伴うと感じています。

また、この会議での議論は公開され、多くの方々に共有されることになります。そのため、意義のある議論を重ね、市政や地域社会に貢献できる実りある会議にしていきたいと考えています。委員の皆様と力を合わせながら、より良い成果につなげていければと思います。

(拍 手)

- スリデウィ スミアルシ委員 私は、働く外国人にとって、住民税や社会保険料、年金保険料などの負担が大きく、手取り収入が大幅に減少したように感じられることに関心を持っています。こうした制度の仕組みについて理解を深めたいと考え

ています。また、外国人市民の皆様が抱える悩みや課題にも耳を傾け、それらについて相談や意見交換ができるよう努めていきたいと思っています。

(拍手)

○孫 鍵委員 私は、委員の皆様お一人おひとりの声を何よりも大切にしたいと考えています。そして、皆様からいただいた御意見や御要望をしっかりと取りまとめていきたいと考えています。まだ至らない点も多いかと思いますが、誠心誠意努めてまいります。なお、私が委員長に選出された場合には、副委員長候補者の推薦は行わず、委員の皆様の御判断にお任せしたいと考えています。

○ディアズ アルベルト ジョセフ ヒラリオ委員 私は子どもの頃から日本で生活しており、これまで徳島県や東京都に居住していました。川崎市に住み始めてからは5年になります。多文化共生に関する活動としては、大学時代から子どもたちに日本語を教えるボランティアに取り組んできました。また、その後はフィリピン大使館においてイベントコーディネーターとして活動し、「フィリピン・ワールドフェスタ in 横浜」の運営に携わりました。川崎市においても様々な活動に参加しており、子どもとしての視点と社会人としての視点の双方から地域社会を見てきました。今後は、これまでの経験を生かしながら、この会議に貢献していきたいと考えています。

(拍手)

○鄭 載勳委員 私は、今、外国人と日本人との間のコミュニケーションがよくない。言葉があまり通じなくて理解ができないので、こういった誤解が生まれて、仲がちょっと悪くなっていると思っております。日本に初めて来た外国の方々が日本をもっと学べる機会を増やしていきたいと思って、今回の会議には、参加させていただきました。私が委員長に選ばれたら、第15期の経験や、未熟ですが途中から副会長で活躍させていただいたので、そういった経験を生かして貢献したいと思っています。

(拍手)

○高橋市民生活部長 5人の候補者からスピーチをしていただきました。それでは、候補者の皆様にお聞きしたいことがある方は、挙手をお願いします。

○ジョン ウナ委員 各候補者にお伺いします。私は、委員長の役割は、自らの意見を示すこと以上に、委員の皆様の意見を取りまとめ、円滑に会議を進行することにあると考えています。そこで、このような委員長の役割を担うに当たり、ご自身の強みと弱みをそれぞれ一つずつお聞かせいただければと思います。

- アブダッラ マダネ委員 私の強みは、新しいことに積極的に挑戦する姿勢と、物事を論理的に考える力です。課題に対して筋道を立てて考え、整理しながら取り組むことができます。一方で、弱みは、一つのことに集中すると周囲が見えにくくなることです。一つの課題に集中して取り組むことは得意ですが、その反面、同時に複数のことを進めることには課題があると感じています。
- 鄭 載勳委員 私の強みは、人の話をよく聞き、それぞれの意見を整理しながら取りまとめることです。会議では様々な意見が出されるほか、日本語能力も人それぞれ異なります。そのため、皆さんが理解しやすく、意見を言いやすい環境づくりに努めることができる点が私の強みであると考えています。一方で、弱みは、提言の取りまとめなど期限のある作業の際に、早く進めたいという気持ちが強くなりがちなことです。そのような場面では、丁寧に進めることとのバランスを意識しながら取り組む必要があると考えています。
- スリデウィ スミアルシ委員 私の強みは、新しい環境であっても積極的にコミュニケーションを図ることができる点です。様々な方と円滑に関係を築きながら、意見交換を進めることができると考えています。一方で、弱みは責任感が強いことです。誰も担当する人がいない場合には、自分が引き受けようとする傾向があります。ただし、その責任感を生かし、会議での議論の取りまとめなどについては、丁寧かつ細やかに対応できると考えています。
- 孫 鍵委員 私の強みは、オープンな姿勢で周囲の方々の意見を聞き、それを受け止めることができる点です。様々な立場や考え方を尊重しながら、意見を丁寧に聞くことを心がけています。一方で、弱みとしては、仕事において部下から悩みや困りごとの相談を受けた際、相手の気持ちに寄り添うよりも先に解決策を示そうとしてしまう傾向があることです。その点については、上司からも、まずは相手の気持ちに共感することが大切であると助言を受けています。また、日本社会における本音と建前の文化については、まだ十分に理解できていない部分があると感じています。
- ディアズ アルベルト ジョセフ ヒラリオ委員 私の強みは、傾聴力であると考えています。翻訳者や通訳者としての経験から、相手の話を聞いてそのまま伝えるだけでなく、その背景にある意図や思いをくみ取り、相手に分かりやすく伝えることを心がけてきました。また、大使館やフィリピンコミュニティでの活動を通じて、こうした力を磨いてきたと考えています。一方で、弱みは緊張しやすいことです。その点については、今後の活動を通じて少しずつ改善していきたいと考えています。

○陳 英鉦委員 鄭委員に1点お伺いします。今回、自ら立候補されるのではなく、推薦を受けて立候補されましたが、最初に自ら立候補されなかった理由についてお聞かせください。

○鄭 載勳委員 私が立候補の際に挙手をしなかった理由は、ほかに強い意欲を持って委員長を務めたいと考えている方がいらっしゃるのであれば、その方にお任せしたいという気持ちがあったためです。一方で、委員の方から推薦をいただきました。私に委員長を任せたいという御意見があるのであれば、その期待に応えるため、精一杯努めたいと考えていました。

(投票用紙配付)

○ディアズ アルベルト ジョセフ ヒラリオ委員 候補者が自分自身に投票することはできるのでしょうか。

○事務局 候補者が自身に投票することも可能です。御自身に投票していただいて構いません。

(投票用紙記入)

(投票用紙回収)

○高橋市民生活部長 それでは、開票結果について報告します。投票結果は、アブダッラ マダネ委員が2票、鄭 載勳委員が9票、スリデウィ スミアルシ委員が4票、孫 鍵委員が1票、ディアズ アルベルト ジョセフ ヒラリオ委員が8票でした。

委員長の選出には過半数である13票が必要ですが、過半数を獲得した候補者はいませんでした。このため、最多得票であった鄭 載勳委員とディアズ アルベルト ジョセフ ヒラリオ委員の2名による決選投票を行います。

(投票用紙記入)

(投票用紙回収)

○高橋市民生活部長 開票の結果、両候補とも12票で同数となりました。そこで、仮議長として選出方法について提案します。一つ目の方法は、くじ引きにより委員長を決定する方法です。二つ目の方法は、両候補に改めて委員長としての抱負や意気込みをスピーチしていただき、その後、再度投票を行う方法です。

○フリードマン マックス委員 両候補のいずれかが委員長、もう一方を副委員長とする方法は考えられないのでしょうか。

○ルイス ジェームス委員 副委員長を希望されている方もいらっしゃるかもしれませんが、その点についても考慮する必要があるのではないのでしょうか。

- フリードマン マックス委員 委員長と副委員長には、具体的にどのような役割の違いがあるのでしょうか。また、両者の役割に大きな違いがないのであれば、それぞれについて選挙を行うことにはどのような意味があるのか、お聞かせください。
- 事務局 副委員長は委員長を補佐する役割を担うとともに、委員長が不在の場合には委員長の職務を代行します。そのため、委員長と副委員長は、それぞれ異なる役割と責任を担っています。したがって、委員長と副委員長の役割には明確な違いがあることを御理解いただければと思います。
- 高橋市民生活部長 もう一つ案が提案されました。一つ目は、くじ引きにより委員長を決定する方法です。二つ目は、両候補に改めてスピーチをしていただいた上で、再度投票を行う方法です。新たに、三つ目は、委員長に選出されなかった候補者を副委員長とする方法、または改めて副委員長候補者を立候補や推薦により募り、その後の投票によって副委員長を決定する方法です。これらの方法について、皆様はいかがでしょう。
- ルイス ジェームス委員 参考までに申し上げますと、2年前の委員長選出の際にも同様の状況がありました。その際は、候補者に改めてスピーチをしていただいた上で、再度投票を行う方法を採用しました。したがって、両候補にもう一度お話しいただいた後に投票を行う方法については、前例があります。
- アブダッラ マダネ委員 三つ目の方法についてですが、両候補のうち委員長に選出されなかった方を副委員長とする場合、副委員長を希望している他の候補者に投票する機会がなくなってしまうのではないのでしょうか。
- 高橋市民生活部長 確かにそのとおりです。副委員長を希望される方への配慮が必要でした。失礼いたしました。
- ジョン ウナ委員 私はくじ引きによる方法でもよいと思いますが、まずは挙手によって採決を行っていただければと思います。
- フリードマン マックス委員 2回目の投票においても両候補が同数票となりました。そのため、この2名のうち、1回目の投票でより多くの票を獲得した候補者を委員長として選出する方法も考えられるのではないのでしょうか。
- 高橋市民生活部長 決選投票を実施した以上、ただいまの提案を採用することはできません。今後の対応としては、くじ引きにより決定する方法、または両候補に改めてスピーチをしていただいた上で再度投票を行う方法のいずれかとなります。それでは、この進め方についてお諮りしたいと思いますが、御了承いただけますでしょうか。

(異 議 な し)

○高橋市民生活部長 それでは、くじ引きによる方法に賛成される方は、挙手をお願いいたします。

(挙 手 8 人)

○高橋市民生活部長 続いて、候補者による再度のスピーチ後に投票を行う方法に賛成される方は、挙手をお願いいたします。

(挙 手 1 3 人)

○高橋市民生活部長 もう一度スピーチをして投票するが13人で過半数になりました。

○ライ ティ ジュエン委員 公平性を確保するため、スピーチの時間を正確に計測していただくようお願いいたします。

○高橋市民生活部長 承知しました。それでは、スピーチはお一人2分以内でお願いいたします。

○鄭 載勳委員 ここまで応援していただき、ありがとうございます。私としては、委員長に選出された場合には、一生懸命努めていきたいと考えています。また、韓国には「チンインサデチョンミョン（人事を尽くして天命を待つ）」という言葉があります。人ができる限りの努力を尽くした上で、その結果は天に委ねるという意味です。私自身、これまでの投票では自分に投票してきましたが、今回は自分自身には投票しないことにしました。そのため、今回の投票では必ず結果が出るものと考えています。

(拍 手)

○ディアズ アルベルト ジョセフ ヒラリオ委員 私は、委員長には多様な立場や意見を正確に理解できる人が適していると考えています。私自身、現在は英語、タガログ語、日本語の3言語で通訳を行っており、行政機関とのやり取りを支援した経験もあります。また、18歳の頃から外国につながる子どもたちに日本語を教えました。さらに、東京都では特別学習指導員として活動してきました。こうした経験を生かしながら、川崎市の多文化共生の推進に貢献していきたいと考えています。

(拍 手)

○高橋市民生活部長 それでは、投票をお願いいたします。

(投 票 用 紙 記 入)

(投 票 用 紙 回 収)

- 事務局 投票総数は24票でした。このうち白票が2票あり、有効投票数は22票でした。開票の結果、両候補とも11票となり、同数票でした。
- ディッテ カタリナ委員 ドイツでは、一つの役職を2人で担う事例もあります。この委員長職についても、2人で共同して務めることはできないのでしょうか。
- 高橋市民生活部長 共同で委員長を務める方法は、制度上難しいと考えています。委員長は1名と定められているため、お二人を委員長として選出することはできません。

それでは、くじ引きにより委員長を選出したいと思います。まず、両候補者にお伺いしますが、この方法でよろしいでしょうか。また、委員の皆様におかれまして、この進め方でよろしいでしょうか。

(異 議 な し)

- ホサニ アハマド ユースフ委員 くじ引きを行うのであれば、両候補者に前に出ていただき、その場でくじを引いていただく方法がよいのではないのでしょうか。
- 高橋市民生活部長 それでは、両候補者に議長席までお越しいただきたいと思えます。

(く じ 引 き)

- 高橋市民生活部長 くじ引きの結果、鄭 載勳委員を委員長に選出することに決定いたしました。

(拍 手)

- 高橋市民生活部長 それでは、引き続き副委員長の選出を行いたいと思います。副委員長に立候補される方がいらっしゃいましたら、挙手をお願いします。

(挙 手 4 人)

- 高橋市民生活部長 ただいま、副委員長候補者として、スリデウィ スミアルシ委員、ディアズ アルベルト ジョセフ ヒラリオ委員、ライ ティ ジュエン委員、ルイス ジェームス委員の4名から立候補がありました。

それでは、続いて推薦を受け付けたいと思います。副委員長候補者に推薦したい方がいらっしゃいましたら、挙手をお願いします。

- 鄭 載勳委員長 既に立候補されている方を推薦することも可能なのでしょうか。
- 高橋市民生活部長 推薦は、候補者を応援することを目的としたものではありません。
- 鄭 載勳委員長 分かりました。
- オトゴンバヤル バトブヤン委員 時間もかなり経過しておりますので、時間を

意識して進行していただきたいと思います。また、特定の方向に誘導するような発言については、可能な限り控えていただきたいと思います。会議の円滑かつ公正な運営のため、御配慮いただきますようお願いいたします。

○高橋市民生活部長 それでは、候補者を推薦される方はいらっしゃいますでしょうか。推薦される方がいらっしゃらないようでしたら、立候補された4名の候補者にスピーチをお願いいたします。スピーチは、お一人2分以内でお願いいたします。

○スリデウィ スミアルシ委員 私が副委員長に立候補した理由は、委員の皆様の意見や発言をしっかりと受け止め、取りまとめていきたいと考えているためです。また、外国人市民が必要な情報を得やすくするためには、InstagramやTikTokなどのSNSを活用した情報発信も有効ではないかと考えています。川崎市が外国人にとってもより暮らしやすいまちとなるよう、微力ではありますが貢献していきたいと思っています。

(拍手)

○ディアズ アルベルト ジョセフ ヒラリオ委員 副委員長として、委員長をしっかりと補佐しながら、会議が円滑に進行するよう努めていきたいと考えています。また、委員の皆様の声を丁寧に伺い、その意見を会議運営に反映できるよう取り組んでいきたいと思っています。

(拍手)

○ライ ティ ジュエン委員 私が副委員長にふさわしいと考える理由は、3点あります。1点目は、川崎市が本当に大好きであり、この地域のために貢献したいという強い思いを持っていることです。2点目は、まだ若い立場だからこそ、様々なことに積極的に挑戦し、自身を成長させていきたいという向上心があることです。3点目は、多様性に対する理解と経験です。実現したいことがあっても、それを進めるためには行動力が必要だと考えています。私自身、これまで様々な経験を積み、多様な背景を持つ方々と交流してきました。そのため、多様性を自身の強みの一つであると考えています。また、「みんな違って、みんないい」という言葉が好きであり、多様な価値観を尊重しながら活動していきたいと考えています。

(拍手)

○ルイス ジェームス委員 私は川崎市に住む前に、東京都や京都府で生活した経験がありますが、外国人市民代表者会議のような制度はありませんでした。そのため、このような制度を設けている川崎市に大変感謝しています。外国人市民代表者は非常に重要な役割を担っていると考えていますが、2年間の任期はあっという間に

過ぎるものだと思います。私には、第15期において外国人市民代表者を務めた経験があります。その経験をいかし、副委員長として委員長を補佐しながら、会議が円滑に進行するよう貢献していきたいと考えています。また、第16期は今後の川崎市の多文化共生を考える上で重要な時期になるとおもっています。委員の皆様と協力しながら、より良い成果につなげていきたいと考えています。

(拍 手)

(投 票 用 紙 記 入)

(投 票 用 紙 回 収)

○事務局 それでは、事務局から投票結果を報告します。投票の結果、スリデウスミアルシ委員が3票、ディアズ アルベルト ジョセフ ヒラリオ委員が14票、ライ ティ ジュエン委員が2票、ルイス ジェームス委員が5票でした。

○高橋市民生活部長 開票の結果、ディアズ アルベルト ジョセフ ヒラリオ委員が14票を獲得し、過半数を超えました。このため、副委員長はディアズ アルベルト ジョセフ ヒラリオ委員に決定しました。

(拍 手)

○高橋市民生活部長 委員長及び副委員長が選出されましたので、それぞれから御挨拶をいただきたいと思います。

○鄭 載勳委員長 委員長に選出いただきました鄭 載勳です。先ほどは「天命」という表現を使いましたが、この結果は委員の皆様を選んでいただいたのだと受け止めています。委員長としての責任をしっかりと果たせるよう、精一杯努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いします。

(拍 手)

○ディアズ アルベルト ジョセフ ヒラリオ副委員長 ありがとうございます。以上です。

(拍 手)

(午後 4時41分 休憩)

(午後 4時47分 再開)

○鄭 載勳委員長 それでは、会議を再開します。議事次第8「年間日程について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

(魚住専門調査員から資料3に基づき説明)

○委員長 事務局からの説明について、質問がある方は手を挙げてください。

(な し)

○委員長 次に、意見がある方は手を挙げてください。

(な し)

○委員長 それでは、年間日程案について、賛成の方は手を挙げてください。

(挙 手 全 員)

○委員長 2026年度の年間日程については、案のとおり決定いたしました。

それでは、議事次第第9「審議スケジュールについて」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

(魚住専門調査員から資料4に基づき説明)

○委員長 ただいまの事務局からの説明について、質問がある方はいらっしゃいますでしょうか。

(な し)

○委員長 次に、御意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。

(な し)

○委員長 まず、次回の審議についてお諮りします。案のとおり、次回はグループディスカッションを実施することに賛成される方は、挙手をお願いします。

(挙 手 全 員)

○委員長 次に、第1回第2日のグループディスカッションにおけるグループ編成についてお諮りします。グループの編成方法については、「事務局が案を作成し、正副委員長が確認及び承認する」とこととしたいと考えています。この案に賛成される方は、挙手をお願いします。なお、少人数の方が意見交換しやすいとの考えから、1グループ5人から6人程度で編成する予定です。それでは、賛成される方は挙手をお願いします。

(挙 手 2 3 人)

○委員長 それでは、次回は1グループ5人から6人程度のグループを編成してグループディスカッションを実施することとします。事務局におかれましては、グループ編成案の作成をお願いします。

最後に、事務局から連絡事項がありましたら、お願いします。

○事務局 次回の会議は、5月17日（日曜日）午後2時から午後5時まで開催します。
会場は、川崎市国際交流センター レセプションルームです。

○委員長 以上で、本日の議事は終了いたしました。これをもちまして、2026年第1回川崎市外国人市民代表者会議（第1日目）を終了します。

(午後 4時54分 閉会)